

不足対策を考える

調査・検討を行っています。今号では、その経過を報告します。

議会を代表して

矢巾町議会議長 廣田清実

昨今私たちの身の回りは多様性が進み、議会としても、その理解と対応が求められる時代となりました。

それに伴い議員の果たすべき役割も大きく変わっており、10年ほど前の通年議会導入前と比較しますと、会議日数なども増え、個々の議員活動も増加傾向にあります。

そのような中、全国的に今、議員のなり手不足が危惧されており、本町も例外ではないと感じております。議員を志す者の中から選挙という結果により選出された者で議会を構成するのが、民意を反映したあるべき姿と考えることから、町が進むべき方向を決め、チェック監視機能を担っている議会議員が不足する状況では、そこに住む町民にとっても望ましいことではないと考えます。

そのため、議員のなり手不足対策を考えるのも、我々議会の使命と考えます。

特別委員会を設置

矢巾町議会では、令和6年9月に「議会のあり方調査検討特別委員会」を設置し、現在に至るまで議会改革に関する活動を継続しております。

この特別委員会設置の背景には「議員のなり手不足対策」があります。本町において議員のなり手不足を回避するため、対策を検討しています。



住民の声を町政に

ではなぜ、なり手不足が問題なのでしょう。全国町村議会議長会の町村議会議員のなり手不足対策検討会の見解（令和6年3月時点）によると、3つの危機があると言います。

なり手不足の3つの危機

1. 新規の立候補者が現れず議員の顔ぶれが固定化すると、住民の関心や認知度が一層低くなる。

2. 立候補者の少なさで選挙が行われないこと（無投票）により、住民が何を課題と考えどんな政策を求めているのかわからなくなる。

3. 政治は、生活の課題を解決する一手法である。生活に最も身近な自治体政治との接点が無投票により切断されれば、地方自治の弱体化が進行する。

このように、議員のなり手がいない、若い議員の誕生が望めないと、多様な住民の声を町政に反映することが難しくなります。

議会の存在意義は、住民の多様性を反映した合議体であることです。属性や経歴の異なる多様な議員たちの合議体

であるからこそ、議会の本領が発揮できるのです。

要因は「魅力の低さ」

「議員のなり手不足」の要因には、生計を立てることができない議員報酬の低さ、議員の仕事がどのようなものかわからない不透明さ、それによる魅力の低さなど、さまざま考えられます。

この根本にある要因をひとつずつ紐解き、改善策を考えること、これが今私たちが特別委員会で行っている活動です。今回は議員が置かれている現状を皆様にお伝えします。

【表1】令和6年度における議員の活動日数（平均）

議会活動 本会議・予算決算常任委員会・常任委員会・特別委員会・全員協議会・町の行事への参加など	153 日
--	-------

※その他に、個人活動（議案書の精読・住民相談への対応・調査研究・一般質問の準備）などを行っています。

議員のなり手

議会のあり方特別委員会では、議会改革の一環として、議員のなり手不足対策などの

「表1」は活動日数を、「表2」は町長との対比、「表3」は定数・報酬の変遷です。定数は平成19年4月に条例を改正し22人から18人になり、現在まで引き継がれています。

また、報酬は平成16年4月に条例改正により24万円になった以降、約21年も改正がなされていません。

定数・報酬の変遷

【表2】町長と議員の職務遂行・活動日数の比較

	町 長	議 員	比 率
職務執行 活動日数	305 日	153 日	50.2%
現在の月額 給与額・報酬額	770,000円	240,000円	31.2%

※町長の職務執行日数は、365日－60日（土日祝÷2）によります。
※全国町村議会議長会が示している議員報酬シミュレーションを用いた比較

【表3】報酬・定数の変遷

	議員定数	議員報酬額	(参考)町長給与額
平成5年1月時点	22人	222,000円	700,000円
平成9年1月時点	↓	246,000円	825,000円
平成16年4月時点	↓	240,000円	770,000円
平成19年4月時点	18人	↓	↓
(現在) 令和7年11月時点	18人	240,000円	770,000円

今後の進め方

「議員のなり手不足」の要因には、議員報酬の低さも挙げられます。一方、現在の町の財政なども勘案すると、高額の引き上げは妥当ではないと考えています。

町財政や社会情勢などを的確に捉えながら検討を進めるとともに、併せて議員活動の見える化など、町民の声を取り入れながら、検討を進めたいと考えています。

町民と語る

「議会フォーラム」開催します！

☆概要 要

○第1部

議会の活動や議会改革への取り組みおよび今後の方向性について

【説明】

矢巾町議会議員

【内容】

- ①議会の活動状況（現状）について
- ②報酬・定数などの見込みについて

○第2部

ワークショップ

（ワールドカフェ形式）

【進行】議会アドバイザー

青森大学教授

佐藤 淳 氏

【テーマ】

- ①議会について感じることや期待すること
- ②議員定数と報酬についてどう思うか

☆開催日時

令和7年12月13日（土）

午後1時から午後4時まで

☆開催場所

矢巾町公民館3階
大研修室

どなたでも
お気軽にご参加ください